

1月の相談室から ~ 誰にほめられたい? ~

『あなたは誰にほめられたいですか?』お家人・友達・先生の3つに順位をつけてください。広島のある小学校で行なった『ほめられたいアンケート』の結果とその考察が紹介されていました。現在、適応指導教室に通級している中学生はどうなのでしょうか。おそらく友達の評価が一番気になるだろうと予想して訊ねたのですが、結果は、あまり考えたことがないという一人を除いて4名中3名が、“お家人”を1番にあげる意外な結果でした。2番目は友達、そして、3番目が先生でした。“お家人”が1番だったのは、広島の小学生と同じです。3名だけの回答ではありますが、中学生でもまだお家人からほめてもらいたいという気持ちをもっているということです。



身体も大きく半分大人扱いされる中学生ですので、親からほめられることなど煙たがるような印象を持ちます。仮に親がほめても期待するリアクションは見られないでしょうが、お家人からのほめ言葉は気持ちの安定に結びつくのだと思います。

「どうして<家族にほめられたい>が1番なのか。」広島の小学生は「学年が上がるにつれてほめられることが少なくなっているから」ということや「お父さん・お母さんはいつも仕事が大変で、しかも迷惑をかけているからこそ、ほめられたい・認められたい」ということをあげていました。

考えてみれば、ほめられたい・認めてほしいという気持ち（承認欲求）は私たち大人も同じです。家族に大事にされて育った子どもは、犯罪に手を染めてしまいそうな時に、親の顔が浮かび思い留まることができるという話をよく耳にします。健やかな成長の土台が家族であることに間違いありません。ちなみに今回紹介した広島の小学校での「ほめられたいランキング」は、学年が上がるにつれて「家族にほめられたい児童の割合」が上がっていました。3年生(55%)、4年生(63%)、5年生(70%)、6年生ではなんと80%という結果でした。心に留めて置きたい数値です。

適応指導教室 (体験活動紹介)

人生設計～生きること～をお金の面から考えてみよう / 理科実験講座



中学生の今、まして受験真っ只中の人達にとって人生設計を考えることはほとんどないでしょう。しかし、高校・その先の人生でお金が必要となる事は数多くあるので、万華鏡づくり銀行協会から取り寄せた資料や新聞を教材に高校受験・高校生活から生涯にわたってお金が必要となることや、日常のお金の掛かり具合などを一緒に考えてみました。ほとんど興味を示さない人、姉妹の受験もあり、しっかり聞き考える人など。小さいときからの家庭での様子が垣間見られる時でもありました。自立は経済的自立なしにありえないでの、そのことも含めてシートにまとめさせながら進めました。「将来やる事を知るよい機会となった。」「金銭面のことや、生活面、精神面など色々な面での自立を少しづつ着実にしていきたいと思いました。」「社会に出るために一歩として受験がありますが、しっかり頑張りたいと改めて意識しました。」等の感想でした。

理科講座では光の反射について学習を行い、その後、一人一台、真新しい顕微鏡を悠々と使わせていただきました。日頃理論学習中心の内容の確認として、BTB溶液やフェノールフタレイン溶液が酸性やアルカリ性の水溶液に反応し、色鮮やかに変色するようすに黄色い歓声を上げていました。

そして、最後は教育研究センターの大又先生にお願いした今様の「万華鏡」作りでした。手先が器用で、色彩感覚の優れた二人は着々と自分の物を完成し、今日参加できなかった人達の分を作り始めました。洗濯のりをビーズと共に入れることで動きに変化が加わり、カラフルプラスアルファの「この世に1つだけの万華鏡」を完成させ、帰りには材料購入の話題で盛り上がっていました。材料も提供いただき本当に有難うございました。体験は知識だけでは得られない何かがいっぱい詰まっていることを改めて痛感した時でした。



岩石標本の観察

「ホップ、ステップ、そしてジャンプ」（適応指導教室紹介）

年度末を控え、欠席が多くなっている児童・生徒の皆さんに、当クラスを簡単に紹介します。授業は毎週月、水、金の午前に5教科と体育を設定し、できるだけ個別の習熟度に合わせて進めています。毎月2回（木曜）の体験活動時には、農作業（定植から収穫）、さらに販売、調理実習なども実施してきました。加えて、物づくり、お楽しみ会、自然散策、進路学習、習字など、多種多様な体験を通じ、新たな発見や学びの場にしています。このように緩やかな通級をベースに個々の内情に共感しながらも、学校復帰を促していくこうと努力しています。

次の一步が踏み出せないでいる諸君も、まずホップ、ステップ、そしてシャイニングクラスへのジャンプを試みてはどうでしょう。

現在の通級生たちも、2年前ないしは10ヵ月ほど前まで、当クラスに足を運ぶことができずにいました。ところが今は高い通級率を維持している状況です。うれしいことにこの間、別室登校等での復帰が叶った生徒もいます。しかし、時の刻みようは誰にでも公平であり過酷なようにも思います。中学3年生にとっては15の春が近づいてきました。当クラスの生徒にとっても同様です。将来を見据えて選択した進路が果たして自分に適しているのだろうかとか、またそのハードルを通過できるのだろうかとか、通級生は特に思い巡らせているようです。その分心の揺れも大きくストレスの解消も難儀のようです。

でも本番は必ずやってきます。もう助走からホップ、ステップまで来てしました。もう残された最後のジャンプはすぐ目の前です。臆せず大きなジャンプができるよう精一杯支援していきます。

気楽に話し合う会
2月20日(金)19:00~21:00
会場：わくわく新庄

2~3月の活動 シャイニングクラス在籍 6名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 数学、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 理科、体育 ○ 木曜日 体験活動（月2回）

◆ 体験活動(22) 2月5日（木）

「理科実験講座」

◆ 体験活動(23) 2月17日（木）

「修了の会に向けて」

◆ 体験活動(24) 3月6日（金）

「修了の会」



顕微鏡を操作し、自分の髪の毛を観察（2/5）

あとがき

今年度も残すところ一月半となりました。新年度の楽しみの一つは「萩野学園」の開校。先日は新聞にも校歌「風になれ、虹になれ」が紹介されました。4月5日の開校式で市民にお披露目される予定のこと。新たな門出に向けて各校（昭和小・萩野小・泉田小・萩野中）での校歌練習も始まっているようです。4校は開校に向けての指導や閉校事務等で忙しいものと推察します。県内外から注目される本県初の施設一体型小中一貫教育校の校舎および体育館が、今完成されようとしています。

教育相談連絡先

- ダイヤルなんでも相談
TEL 23-7266
- 適応指導教室（シャイニング）
TEL 22-2111
(内線 445、448)
林、小野、鈴木が担当です。